



# 令和3年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年4月28日

上場会社名 多木化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4025 URL <https://www.takichem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多木 隆元

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 大橋 正

TEL 079-437-6002

四半期報告書提出予定日 令和3年5月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和3年12月期第1四半期の連結業績(令和3年1月1日～令和3年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年12月期第1四半期	7,725	1.0	473	9.5	520	0.9	365	13.9
2年12月期第1四半期	7,651	1.5	432	23.0	524	17.0	424	41.0

(注) 包括利益 3年12月期第1四半期 1,081百万円 ( %) 2年12月期第1四半期 637百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年12月期第1四半期	42.28	
2年12月期第1四半期	49.17	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年12月期第1四半期	43,193	27,770	64.0
2年12月期	42,939	27,079	62.7

(参考) 自己資本 3年12月期第1四半期 27,625百万円 2年12月期 26,936百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年12月期				45.00	45.00
3年12月期					
3年12月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和3年12月期の連結業績予想(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	1.1	1,650	6.2	2,050	5.4	1,500	3.8	173.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年12月期1Q	9,458,768 株	2年12月期	9,458,768 株
期末自己株式数	3年12月期1Q	810,590 株	2年12月期	810,588 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年12月期1Q	8,648,179 株	2年12月期1Q	8,638,726 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」もご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、感染拡大の防止策を講じつつ、各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直しの動きがみられたものの、感染拡大の懸念があり、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループにおいては本年度を初年度とする「中期経営計画2023」に基づいて、既存事業の収益力向上などに努めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は77億25百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は4億73百万円（前年同期比9.5%増）、経常利益は受取配当金が減少し5億20百万円（前年同期比0.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億65百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、経営管理方法を最適化するため、従来「アグリ」セグメントに含めておりました製品の一部を「化学品」セグメントに、「化学品」セグメントに含めておりました製品の一部を「アグリ」セグメントに区分を変更しております。

また、「化学品」セグメント内の区分整理を行い、従来「機能性材料」に含めておりました製品の一部を「水処理薬剤」に、「その他化学品」に含めておりました製品の一部を「水処理薬剤」、「機能性材料」に区分を変更しております。

以下の前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## (アグリ)

肥料の販売数量は前年同期並みに推移したものの、販売価格が値下がりしたことにより、売上高は23億36百万円と前年同期に比べ1.0%の減少となりました。

## (化学品)

水処理薬剤は、販売数量が超高塩基度ポリ塩化アルミニウムの好調な出荷により増加し、売上高は19億94百万円と前年同期に比べ2.1%の増加となりました。

機能性材料は、生産調整が続いていたスマートフォン向け高純度酸化タンタルと新型コロナウイルス感染症により一時的に需要が低迷した自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウムの販売数量が回復し、売上高は12億87百万円と前年同期に比べ41.1%の大幅な増加となりました。

その他化学品の売上高は45百万円と前年同期に比べ10.9%の減少となりました。

それらの結果、売上高は33億27百万円と前年同期に比べ14.0%の大幅な増加となりました。

## (建材)

石膏ボードの販売数量が新設住宅着工戸数の減少などにより低調に推移したことや、販売価格が値下がりしたことにより、売上高は7億25百万円と前年同期に比べ10.3%の大幅な減少となりました。

## (石油)

燃料油の販売価格は前年同期並みに推移したものの、販売数量が減少したことにより、売上高は4億58百万円と前年同期に比べ20.4%の大幅な減少となりました。

## (不動産)

ショッピングセンターの賃料収入が、リニューアル工事に伴い減少したことなどにより、売上高は3億55百万円と前年同期に比べ12.4%の大幅な減少となりました。

## (運輸)

荷動きが低調に推移したことにより、売上高は5億22百万円と前年同期に比べ10.3%の大幅な減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、431億93百万円（前連結会計年度末比2億53百万円増）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が7億35百万円増加しましたが、現金及び預金が16億12百万円、原材料及び貯蔵品が2億12百万円それぞれ減少したことなどにより、209億35百万円（前連結会計年度末比9億62百万円減）となりました。固定資産は、投資有価証券が10億26百万円増加したことなどにより、222億57百万円（前連結会計年度末比12億16百万円増）となりました。

負債の部は、預り保証金が2億75百万円減少したことなどにより、154億22百万円（前連結会計年度末比4億37百万円減）となりました。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金が7億11百万円増加したことなどにより、277億70百万円（前連結会計年度末比6億91百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、令和3年2月8日に公表いたしました令和3年12月期の業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和3年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,426	4,813
受取手形及び売掛金	8,302	9,037
電子記録債権	1,496	1,673
商品及び製品	2,866	2,864
仕掛品	205	195
原材料及び貯蔵品	2,191	1,978
その他	421	383
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	21,898	20,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,118	20,285
減価償却累計額	△15,200	△15,304
建物及び構築物(純額)	4,918	4,980
機械装置及び運搬具	16,473	16,473
減価償却累計額	△14,532	△14,622
機械装置及び運搬具(純額)	1,941	1,851
工具、器具及び備品	1,458	1,467
減価償却累計額	△1,322	△1,336
工具、器具及び備品(純額)	136	130
土地	6,420	6,420
リース資産	455	455
減価償却累計額	△22	△30
リース資産(純額)	433	425
建設仮勘定	29	353
有形固定資産合計	13,878	14,161
無形固定資産		
ソフトウェア	20	17
水道施設利用権等	11	11
ソフトウェア仮勘定	455	490
無形固定資産合計	486	520
投資その他の資産		
投資有価証券	6,241	7,268
繰延税金資産	216	98
その他	254	246
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	6,675	7,576
固定資産合計	21,040	22,257
資産合計	42,939	43,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和3年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,430	4,315
短期借入金	373	374
1年内返済予定の長期借入金	71	60
リース債務	34	34
未払金	1,179	1,228
未払法人税等	394	213
未払消費税等	178	178
賞与引当金	42	245
その他	607	469
流動負債合計	7,313	7,118
固定負債		
長期借入金	515	515
リース債務	442	434
繰延税金負債	438	571
退職給付に係る負債	3,850	3,761
預り保証金	3,109	2,833
その他	189	187
固定負債合計	8,547	8,304
負債合計	15,860	15,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,147	2,147
資本剰余金	1,342	1,342
利益剰余金	22,361	22,337
自己株式	△742	△742
株主資本合計	25,109	25,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,854	2,566
退職給付に係る調整累計額	△27	△25
その他の包括利益累計額合計	1,827	2,540
非支配株主持分	143	144
純資産合計	27,079	27,770
負債純資産合計	42,939	43,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年3月31日)
売上高	7,651	7,725
売上原価	5,794	5,803
売上総利益	1,856	1,921
販売費及び一般管理費	1,423	1,447
営業利益	432	473
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	81	30
その他	17	24
営業外収益合計	100	55
営業外費用		
支払利息	3	3
固定資産除却損	2	2
その他	1	3
営業外費用合計	8	9
経常利益	524	520
特別利益		
固定資産売却益	14	—
特別利益合計	14	—
税金等調整前四半期純利益	538	520
法人税、住民税及び事業税	176	222
法人税等調整額	△63	△70
法人税等合計	113	151
四半期純利益	425	368
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	424	365



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年3月31日)
四半期純利益	425	368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,064	711
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	△1,062	713
四半期包括利益	△637	1,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△638	1,078
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症は、経済、企業活動に広範な影響を与えており、当社グループの事業活動にも影響を及ぼしております。

このような状況が、当連結会計年度中は一定期間継続するものと仮定して、需要を予測した上で固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行った結果、新型コロナウイルス感染症による重要な影響はないと判断しております。

なお、現在の状況及び入手可能な情報に基づき、合理的と考えられる見積り及び判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大や収束時期等の見積りには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。